

令和5年度(第45期)事業報告書

I. 当期の経営概況

令和5年度から、厚生労働省「第14次労働災害防止計画」が始まりました。この計画は、労働災害を減少させるために国が重点的に取り組む事項を定めた中期計画で、第14次は2023年4月～2028年3月までの5年を期間とするものです。この中で、特に「労働者の作業行動に起因する労働災害防止対策の推進」「高年齢労働者の労働災害防止対策の推進」を中心とした計画を掲げ、計画の進捗状況を把握することとなっており、安全衛生の取組を見える化する仕組みを活用し、事業者が主体的に労働者の安全と健康に関し、取り組みを進めることを求めています。

こうした中、当協会では、一般健康診断・特殊健康診断、事後措置のための二次健康診断、がん検診、特定保健指導や労働者の健康保持増進、ストレスチェックや職場環境改善、カウンセリング等を推進しました。また、事業場が加入する医療保険者のニーズに応えるため、中高年労働者を中心とした生活習慣病予防健診、人間ドック、脳・心臓ドックや特定健診・特定保健指導等の体制づくりに注力しました。

業績をみると、経常収益全体では、2,838百万円(前期2,757百万円)となり、対前期比で103.0%の増収となりました。増収分の内訳は巡回健診事業が微減だったものの、施設健診事業で微増となり、また、健康増進事業、クリニック事業で増加となりました。経常利益では、114百万円(前期105百万円)と108.6%の増益となりました。

社内体制関連では、職員の「働き方改革」の取り組みとして、引き続き、職員の処遇や労働環境の整備、品質や効率向上を図りました。令和6年度からの稼働に向け、新健診システムの構築、医療機器システムとの連携、医療情報システムのセキュリティガイドラインに準拠したネットワークの整備を進めました。7月には、保健スタッフの活動拠点として、健康管理センター(富山市西二俣)に隣接してウェルネスケアセンターを開設しています。

各事業の実施概要については、以下のとおりとなっています。

II. 調査研究および普及啓発事業(継1事業)

1. 調査研究

健診結果データをまとめた事業年報は、令和3年度の1年間分とし、5月に発行しました。研究発表では、第52回日本総合健診医学会学術大会や第36回日本冠疾患学会学術集会などで学会発表を行いました。第76回富山県医学会の発表では、ポスターセッション優秀賞を受賞しました。また、論文発表を3件行いました(うち1本は英語論文)。

区分	令和5年度	令和4年度
事業年報	480件	480件

研究発表	6件	6件
------	----	----

2. 普及啓発

広報誌発行では、事業場や団体、関係機関向けに年4回の配布を実施しました。

健康セミナーは感染症対策を行いながら現地参加方式で2月に実施しました。その他、他機関・団体の行うキャンペーンへの協力として施設内ポスター掲示やWebでの広報、事業所へのパンフレット配布を行いました。また、富山県 THP 推進協議会事務職として富山県産業安全衛生大会での健康増進コーナーにて「ベジチェック」を用いて野菜の摂取量チェックを行いました。

区分	令和5年度	令和4年度
広報誌発行	8,540部	8,550部
健康セミナー(参加員数)	301人	52人

III. 予防医療事業(他1事業)

1. 巡回健診および施設健診

区分	令和5年度	令和4年度
巡回健診(集団健診)	232,776件	241,962件
健康管理センター(施設健診)	23,492件	23,180件
高岡総合健診センター(施設健診)	40,648件	39,885件
とやま健診プラザ(施設健診)	49,802件	45,950件
定期健康診断等	177,647件	188,853件
雇入時健康診断	3,118件	1,951件
特殊健康診断	63,980件	57,514件
その他検査等	14,088件	19,174件
生活習慣病健診	53,915件	50,514件
ドック健診	6,606件	6,394件
住民検診	17,289件	16,805件
学校健診	10,075件	9,772件
精密検査の勧奨	5,860事業場	5,740事業場

2. がん検診

区分	令和5年度	令和4年度
肺がん検診	169,534件	167,430件
胃がん検診	43,301件	42,902件
大腸がん検診	78,481件	73,717件
乳がん検診	19,111件	17,388件
子宮がん検診	15,215件	13,404件

3. クリニック(千代田循環器内科クリニック)

新型コロナウイルス感染対策を行いながら通常診療とコロナ陽性患者の診療を行いました。一般患者や

健診受診者への感染を防ぐために感染対策を行い患者の導線にも配慮しました。

循環器疾患や糖尿病は、新型コロナウイルス重症化の危険因子であり、専門外来での管理を求める方が多く患者数増加につながりました。

区分	令和5年度	令和4年度
患者総数	5,100人	4,321人
初診患者数	544人	463人
労災2次健診受診者数	78人	110人
新型コロナワクチン接種事業	2,052人	1,357人

IV. 健康づくり支援事業(他1事業)

1. 健康づくり支援

労働安全衛生法や高齢者医療確保法、健康増進法等に基づき、医師や専門スタッフを職場に派遣し、有所見者に対する保健相談や特定保健指導を行いました。その他、保健・運動・栄養スタッフを派遣し、出張教室を行いました。また、遠隔での健康サポートでは、特定保健指導で68件実施しました。令和2年度から協会けんぽ富山支部より委託を受けて実施している巡回健診当日遠隔面接支援事業については、事務職員等を63会場分派遣し288人に対して支援を行いました。

ウェルネスケアセンターが7月に開設し、社内外の健康経営支援活動に力を入れるようになり、セミナー会場のあるとやま健診プラザと高岡総合健診センターにてヘルスリテラシー向上セミナーを10月より毎月1会場1回開催しました。また、角川介護予防センターと協力して調理実習を含む体験型の「腸活セミナー」を3回実施しました。

区分	令和5年度	令和4年度
運動・栄養・健康教室(訪問)	30回	27回
産業保健相談	940人	1,166人
特定保健指導	3,239人	2,833人
電話保健相談	183件	307件
(新規)ヘルスリテラシー向上セミナー	12回	-

2. メンタルヘルス

ストレスチェックサービスの実施とともに、中小事業場の「健康経営」の推進のため、職場分析結果報告会の実施などサービス向上に努めました。事業場に対しては、メンタルヘルスに関する教育研修を45回、従業員に対するカウンセリングを351回(前年比107件増)実施しました。企業からはクライシス案件のカウンセリング依頼が3件あり、過去最高の実績となりました。

50名未満の小規模事業場に対しては、ストレスチェック事後サポート契約「スタートアップ」の取扱いを開始し、事業場の心の健康づくり支援体制を強化しました。

区分	令和5年度	令和4年度
教育研修・セミナー	45回	50回
EAP(従業員支援プログラム)サービス	79社	79社
ストレスチェック(全衛連方式)	44,978人	48,143人
カウンセリング	351回(うちWEB9回)	244回(うちWEB6回)

V. 富山市角川介護予防センター事業(他2事業)

2023年4月1日から、富山市の指定管理委託(5年間、第3期目)の3年目をスタートしました。利用者数は、70,362人(2022年度72,406人、対前年比97%)、開館からの延べ利用者数は約90万人となりました。

※人数集計は2月時点

区分	コース	令和5年度	令和4年度
基本事業	QOLツアー	751人	754人
自主事業	運動温泉会員	437人	519人
	ピジター	4人	6人
	メタボ教室	165人	170人
		(特定保健指導13人含む)	(特定保健指導11含む)
	ロコモ教室	29人	37人
	脳活性化教室	114人	93人
	パーソナルケア	358人	617人
	自律神経検査	27人	21人
委託事業	フェルデンクライス	135人	170人
	事業対象者事業	94人	88人
イベント	角川オンライン教室	3人	10人
	気候療法	157人	137人

VI. 職員数

(正職員)

	令和5年度	令和4年度
医師	18名	17名
看護師・准看護師	38名	39名
診療放射線技師	20名	22名
臨床検査技師	25名	23名
保健師・管理栄養士	14名	13名
その他職員	104名	105名
合計	219名	219名

VII. 理事会・評議員会の開催

○理事会

第1回	令和5年5月	事業報告、計算書類、公益目的事業計画実施報告の承認、評議員会の招集の決定
第2回	令和6年3月	事業計画書および収支予算書の決議

○評議員会

第1回	令和5年6月	計算書類の承認、事業報告および公益目的支出計画実施報告書等の報告
-----	--------	----------------------------------

■ 附属明細書について

附属明細書に記載が必要事項は財務諸表の注記に記載しており、また事業報告の内容を補足する重要な事項もないため、附属明細書の作成を省略する。